

# 福祉生活病院常任委員会資料

(令和2年1月21日)

【件名】

- 1 県立中央病院の「がんセンター」の設置について(病院局総務課)…………… 1

病 院 局

# 県立中央病院の「がんセンター」の設置について

令和2年1月21日  
病院局総務課

県立中央病院のがん医療を強化するため、同院が提供するがん医療を横断的に統括する「がんセンター」を設置しましたのでご報告します。

なお、がんセンターは特定の施設を新設するものではなく、既存の部門を統括し機能的連携を図るものです。

## 1 がんセンターの概要

(1) 設置年月日 令和2年1月1日

(2) 設置目的

がん治療に係る窓口を一元化し、鳥取大学や岡山大学等関係医療機関との円滑な情報交換・連携を図り、併せて、院内のがん治療に関わる各部門の定期的な会合を実施し、治療困難事例等の対応の円滑な協議を推進することで、本県がん死亡率の改善につなげます。

## 2 がんセンターの部門ごとの役割

部門	役割・内容
手術部門	・ロボット（ダ・ヴィンチ）手術や4K内視鏡を積極的に展開し、鳥取大学や全国の優れた手術指導者を招き、がん手術の向上を図ります。 【手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）】 R1.10月導入 これまでの手術件数6件（消化器外科手術4件、泌尿器科手術2件）
放射線治療部門	・鳥取大学附属病院放射線治療科と連携し、中央病院設置の強度変調放射線治療機（IMRT）の治療精度を高めます。 【強度変調放射線治療機（IMRT）】 H30.12月導入 2,829件（R1.11現在）
がん薬物療法部門	・個々の患者の副作用などを考慮した薬物療法を実施します。 ※新病院となり、化学療法室を8→20床に増床。
がんゲノム医療部門	・岡山大学と連携し、がんゲノム医療（※）を推進します。 （※）ゲノム医療…個人の「ゲノム情報」をはじめとした各種検査情報をもとにして、その人の体質や病状に適した医療を行うこと。 がんゲノム医療に関するこれまでの取組 岡山大学病院（がんゲノム中核拠点病院（全国11カ所））の連携病院となる（H30.4月～） がんゲノム外来の設置（R1.10月～）
がん診断部門	・PET-CTを活用して、がんの早期発見につなげます。 【PET-CT】 H30.12月導入 402件（R1.11現在）
緩和ケア部門	・周辺医療機関と連携し、疼痛緩和治療の向上を図り、地域に根ざした終末期医療を展開します。 ※新病院となり、新たに緩和ケア病棟（20床）を整備
がん相談部門	・AYA世代（※）のがん治療や、妊娠等の相談にも対応できるようにするとともに、がん患者の就労支援にもつながる相談体制を整備します。 （※）AYA世代…Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人） 就学・就労、結婚や出産など人生における大きなイベントを迎える時期と治療が重なることから、教育、就労、妊娠に関する情報提供等が重要となる。
がん登録・統計部門	・治療成績向上のための分析結果等、様々な情報を提供します。
キャンサーボード	・院内で様々な治療科、職種を交えた症例検討会を開催し、組織横断的な治療法の選択を模索します。 ・鳥取赤十字病院とのテレビ会議を定期的で開催し、治療困難事例への対処法の検討や治療成績の比較を行います。